

公表

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
ひっぽファミリー		令和 8年 3月 5日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0		適切だと思います。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2		適切だと思います。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	3	事業所が半地下の場所にあり、事業所の前に階段がある。室内はフラットである。	お子様が階段を利用する際には、必ず手すりを持ってもらいスタッフが沿って歩くようにし、安全に気づけています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	毎日、お子様達と清掃をしています。また、ご帰宅後もスタッフが掃除や消毒をしています。	感染症予防も兼ねて、毎日の消毒清掃は欠かさず行っています。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	室内が賑やかになり、落ち着かないお子様がおられたときには、別室で過ごすことも可能です。	一部屋しかないで、何人か別室利用が必要な時には難しい時もあります。もう1部屋作れると良いのではと思います。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	資料の回覧等での閲覧で周知に繋がっています。	スタッフ全員に周知に繋がっていない時もあるので、スタッフ全員の周知に繋がってほしいと思います。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	保護者の方々の意見を汲み取り改善に努めています。	これからもより一層の良い支援の提供に繋がってほしいと思います。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	短い時間ではありますが、意見交換の場を作っており、相談のしやすい環境です。	時間が短く細かいところまでお話が出来ないうちもります。もう少し時間が取れるように時間の工夫に取り組んでいきたいと思ひます。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4	費用が高額の為、実施しておりません。	助成金等があれば、実施したいと思ひます。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0		行なっております。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0		公表しております。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0		適切に作成しております。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	活動に入る前に、伝達事項や意見交換の場を作っています。	今後も時間の取れる範囲にはなりますが、意見交換の時間を作るようにしていきます。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0		共有されております。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	4～5か月に1回アセスメントを取り直します。	アセスメントを取り直した結果もスタッフで周知し、より良い支援の提供に努めていきたいと思ひます。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		適切に行っております。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	毎朝のミーティングで話し合いをし、決めています。	常勤だけでなく、非常勤のスタッフとも話し合い、意見交換をしながら、プログラムの立案をしていきたいと思ひます。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	お子様たちの飽きがこないプログラムの作成に努めています。	マンネリ化している部分もあるかと思うので、新ルールを追加したり等、みんなが楽しめる活動を考えていきたいと思ひます。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0		行なっております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	ミーティング時間を作り、事前の伝達で役割分担や情報共有を行っています。	行なっております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	4	送迎後は帰社時間となるので、話せる日と話せない日があります。	当日に話し合いが出来なくても、翌日に話をする時間を作るようにしています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		行なっております。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		行なっております。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0		行なっております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0		行なっております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	児発管が会議に参加し、関係機関との情報共有に努めています。	今後は児発管だけでなく、担当の職員も参加しデイでの活動や取り組みを伝えられる機会を作っていきたいと思います。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	連携を考えていますが、来ていない関係機関も多いです。	関係機関との繋がりが作れるよう、積極的に連絡を取るようになっていきたいと思います。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	学校お迎え時の短い時間だが、お話を聞くようにしています。	学校の先生との話す機会を増やし、お子様の支援に向けて共有認識を持てるようにしていきたいと思います。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0	引継ぎとして、情報共有の時間を作っています。すべての事業所連携はまだ出来ていません。	今後は、関係のある事業所との連携を図り、お子様たちの支援に繋げていきたいと思っています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	6	保護者の方を通して、お伝えしてもらっています。または、電話でのお話で情報の伝達をしています。直接お話をする事業所は少ないです。	今後は卒業後の移行の際には、支援情報等、お話が出来る機会を作っていきたいと思っています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3		お互いの日時が合わず難しいと思います。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	6		お互いの日時が合わず難しいと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	0	2か月に1回阿倍野区障がい児部会に参加している。	今後は担当者以外にも参加してもらい、協議会への理解を深めていってもらおうと思います。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	4～5か月に1回の面談や送迎時に様子等お聞きしたりしている。	保護者の方とのお話をする機会を増やし、保護者の方とのより良い関係を築いていき、一緒にお子様の課題を考えていけるようにしていく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	6	保護者向けの研修情報をお伝えするようにしている。	研修等の情報交換とともに、参加してよし一層お子様の理解に繋げていけるような機会を作っていきたいと思っています。
保	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		行なっております。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	4～5か月に1回、保護者の方との面談をおして、意向を聞く機会を作っています。	今後も面談の際には、意向をお聞きし、今後どのように支援をしていくか、家庭、デイ、学校での取り組みを考えていけるようにしていきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		同意を得ています。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		行なっております。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	6	保護者会の設立はまだ出来ていません。	今後は保護者会の設立に向けて取り組んでいきたいと思います。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		対応しております。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	毎月のひっぽだより作成や日々のブログを公開しお子様たちの日々の活動をお知らせしています。	活動の様子がわかるような写真の掲載に取り組んでいきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	鍵付きの書庫に入れて保管しています。	今後も個人情報の保護に取り組んでいきます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		配慮は必ずしております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6		お互いの日時が合わず難しいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1		実施しております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	毎月1回は必ずお子様たちと一緒に避難訓練（地震、火災等）を行い、緊急時に備えています。年に1回は阿倍野防災センターに見学に行き、災害についての学習もしています。	長期休み時は、違う曜日にも避難訓練の活動を取り入れ、利用のお子様みんなが緊急時に対応できるように考えていきたいと思います。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	利用前にしっかり聞き取りを行っている。また、服薬変更の場合は、薬の処方箋のコピーをいただき、スタッフ全員周知するようにしている。	今後も聞き取りを怠らず、服薬や持病の把握に繋げていきたいと思います。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2		対応させて頂いております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		実施しております。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		周知して頂いております。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	ヒヤリハット案件が発生した場合、スタッフでの話し合いをし、再発防止に繋がっています。	常勤のスタッフで話す機会が多いので、常勤だけでなく非常勤のスタッフにも話し合いに参加してもらい、共有をしより一層の再発防止に繋がってきたいと思います。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	社内、外でも研修には積極的参加してもらい、スタッフのスキル向上に繋がっています。	さらなるステップアップになるように、今後も研修へ積極的に参加してもらえようとしています。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	身体拘束が必要とする児童がいままでいませんでした。	必要と判断されるお子様がおられたら、保護者の方としっかり話をし、理解をしてもらい同意を頂くようにしていきます。	